



「小鳥が鳴いてるよ」「どこ？」市内にはまだ雑木林も残されています。

# 75%が「住み続けたいまち」 市政世論調査がまとまりました

問合せ秘書広報課 市民相談係

市では、市民の皆さんの意識や意向を調査・把握し、市政に反映させるため3年に一度市政世論調査を実施しています。このほどその結果がまとまりましたので、一部を紹介します。

**調査概要**市内在住の20歳以上の男女1,000人を住民基本台帳から無作為に抽出してお願いしました。このうち、758人(75・8%)の方から回答をいただきました。

この世論調査は、3年ごとに行っているもので、14の分野にわたり、33の設問にお答えいただきました。調査にお答えいただいた方は、男女比、年齢、お住まいの地区など、まんべんなく網羅できるように無作為に抽出しました。

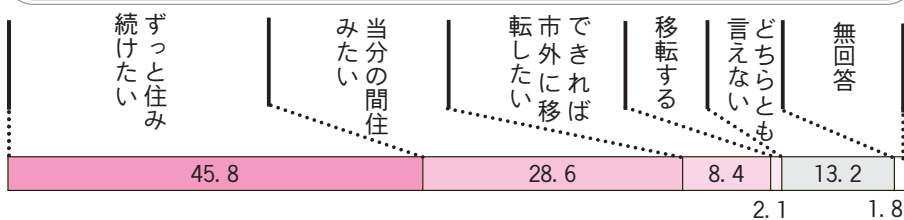
この報告書の全文は市内の図書館で閲覧できるほか、市ホームページにも掲載しています。(http://www.city.fussa.tokyo.jpのトップページ左側「福生のことを知ろう」→市政データ集→各種報告書<市政世論調査報告書>)

グラフ中の数値の単位はいずれも%です。

## 定住意識

定住意向は

「ずっと住み続けたい」と「当分の間住みたい」を合わせた《住み続けたい》人の割合は、7割台半ばを占めています。



## 福生市の魅力と将来像

福生市らしい魅力を感じる施設や行事は

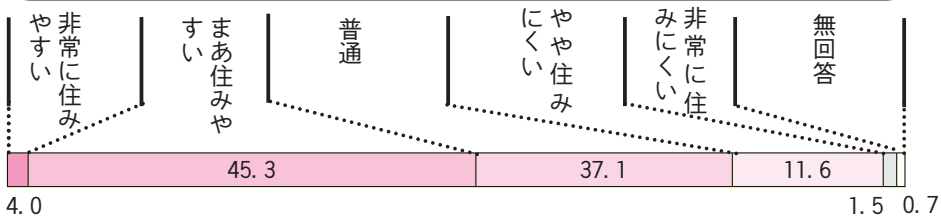
「七夕まつり」の割合が最も高く、6割弱を占めています。

七夕まつり	58.7	中央体育館・地域体育館	8.8
多摩川沿いのサクラ並木	47.9	ふれあいフェスティバル	8.8
多摩川	38.5	福祉センター	7.9
玉川上水	35.0	市民文化祭	7.1
多摩川中央公園	29.9	輝きフェスティバル	6.5
横田基地	29.9	みずくらいど公園・日光橋公園	5.7
ほたる祭	29.7	柳山公園	5.5
桜まつり	25.3	市民総合体育大会	3.4
国道16号線沿いの商店街	23.0	茶室	3.0
中央図書館・郷土資料室	20.7	野外彫刻	1.6
夏祭り	17.3	その他	1.3
熊川神社・神明神社	14.0	特にない	6.2
市民会館・公民館	12.3	無回答	0.8

## 環境評価

福生市は住みよいところか…

「非常に住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせた《住みやすい》が約半数となっています。



## 環境評価

地域の生活環境は

## 環境問題

ごみ減量やリサイクルを進める上で日常心がけていることは

「非常に満足」と「まあ満足」を合わせた《満足》が最も多かったのは、「住まいの日当たり、風通し」で約2人に1人が満足している。

項目	「非常に満足」・「まあ満足」
道路や排水の整備	34.1
騒音、振動、大気汚染などの公害	12.9
ごみの収集方法	41.3
住まいの日当たり、風通し	48.4
公園や子どもの遊び場	32.7
食料品、日用品の買い物の便	40.7
通勤・通学や外出のときの交通の便	37.6
病院や診療所などの利便性	24.8
近所づきあい、人情味の豊かさ	22.2
緑や空気など自然環境	40.2
スポーツや文化活動をする施設	20.7
老後の生活を送る場所として	18.1

「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」の割合が8割を占め、最も高くなっています。

洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う	82.2
不要なものや使い捨て商品は買わない、過剰包装は断る	51.2
再生紙の商品を利用している	42.7
繰り返し使えなくなった物は、分別して資源としてリサイクルする	41.2
買い物袋を持参している	35.8
食料品の買い過ぎや食事の作りすぎに注意している	28.9
丈夫な物を選び長く使う、修理して使う	26.3
エコマークなど環境に配慮した商品を利用している	18.2
不用でも使える物は他人に譲ったり、ガレージセールに出したりする	17.8
ビール瓶や酒瓶は酒屋に返せるように、繰り返し使える物を選ぶ	9.9
生ごみ処理機や生ごみ堆肥化容器を使っている	4.4
その他	1.1
特に考えていない	4.2
無回答	0.8

## 福祉社会

子どもが健やかに生まれ育つためには

## 福祉社会

今後のボランティア活動については

「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」の割合が最も高く、6割となっています。

子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策	59.8
身近な地域で子育ての相談や支援が気軽にできる養育環境の推進	32.7
一時保育などの保育サービスの充実	27.0
受験戦争の緩和などゆとりのある教育環境の確保	24.9
世帯人員に応じたゆとりある住宅確保等のための住環境の整備	23.0
その他	4.4
無回答	4.2

ボランティア活動を「したいと思う」人が半数を超えています。

